

2024年度 環境経営レポート

(対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日)



 大阪市住まい公社

大阪市住まい公社は「大阪市住宅供給公社」の愛称です

作成日： 2025年11月18日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7～12
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	12
緊急事態対応訓練	13～14
代表者による全体の評価と見直し・指示	15
これまでの環境活動の紹介	15～17

□ごあいさつ

私たちを取り巻く自然環境は、益々その厳しさを増しております。今年も集中豪雨による河川の氾濫や土砂災害等により甚大な被害が発生しました。また、気象庁の資料によれば、「2022年夏(6～8月)の日本の平均気温の基準値(1991～2020年の30年平均値)からの偏差は+0.91℃で、1898年の統計開始以降、2番目に高い値になった」とのことです。熱中症により緊急搬送される人の数も増加しており、命に係わる事態となっております。

世界的に見ても、各地で異常な高温による大規模な山火事や大雨による洪水が発生し、多数の尊い人命が失われております。今後、氷河の崩壊による海面の上昇、海拔の低い地域の水没などのリスクが懸念されます。

COP27(国連気候変動枠組み条約第27回締約国会議)がエジプトで11月に開催され、気候変動対策の各分野における取組の強化など、世界が一体となって環境保全に対する取組みが進められておりますが、未だゴールは見えない状況にあります。

私たち一人一人にできることは限られておりますが、私たちの世代はもとより次の世代のためにも、この環境問題と真摯に向き合い、各人がそれぞれの立場で今できることを確実に実施していく必要があります。

そのためにも、全ての職員が「環境経営方針」を十分に理解し、環境経営目標に掲げた事項を率先垂範して実施していただくよう改めてお願いいたします。

最後に、先人から受け継いだ緑豊かな自然を、可能な限り現状のまま未来の世代に渡していくことが私たちの責任であります。

環境経営方針

<環境経営理念>

私たちは、安全・安心・快適な住まいとサービスを提供し、お客様の信頼と期待に応えるとともに、地球温暖化対策をはじめとした環境問題が経営にあたっての重要課題であることを認識し、全職員が一丸となって継続的に環境改善活動に取り組んでまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や会社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくす等廃棄物の発生抑制に努めます。
4. 適正な利用により水資源の有効活用に努めます。
5. 住宅の管理にあたり環境配慮に努めるとともに、会社の社会貢献活動にも積極的に取り組みます。

制定日：2019年9月30日

改定日：2023年1月1日

理事長 田中 義浩

□組織の概要

更新日：2025年7月1日

(1) 名称及び代表者名

大阪市住宅供給公社
理事長 田中 義浩

(2) 所在地

本社	大阪府大阪市北区天神橋6-4-20	住まい情報センター5, 6階
大阪市立住まい情報センター	大阪府大阪市北区天神橋6-4-20	住まい情報センター4階
募集センター	大阪府大阪市北区天神橋6-4-20	住まい情報センター5階
梅田住宅管理センター	大阪府大阪市北区梅田1-2-2-700	大阪駅前第2ビル7階
阿倍野住宅管理センター	大阪府大阪市阿倍野区旭町1-2-7-500	あべのメディックス5階
平野住宅管理センター	大阪府大阪市平野区喜連東4-4-35	

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	総務部長	TEL：06-6882-7000
担当者	総務部	TEL：06-6882-7000

(4) 事業内容

賃貸住宅管理事業・住宅支援事業・住まい情報センター管理運営事業

(5) 事業の規模

売上高 131 億円

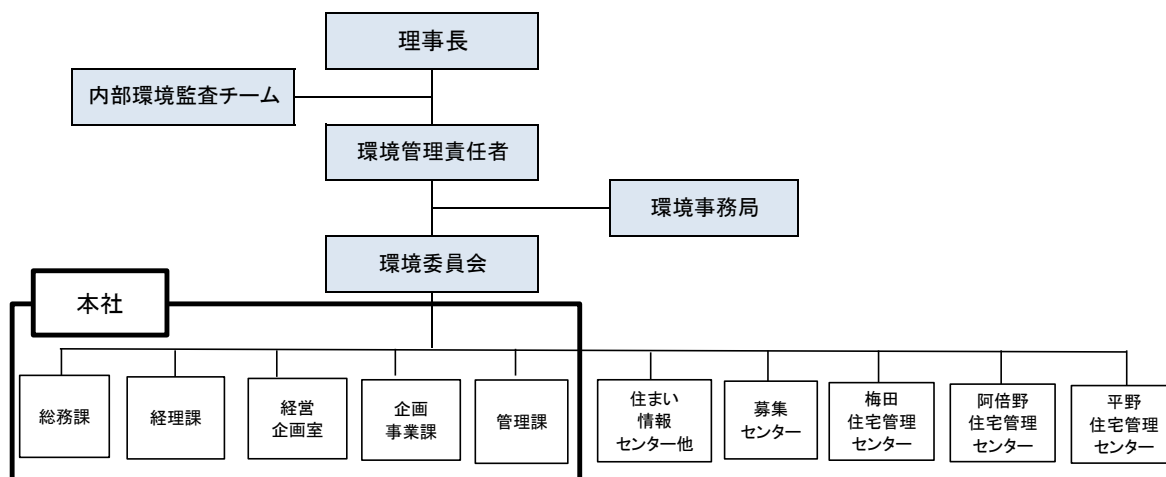
	本社	大阪市立 住まい情報 センター他	募集センター	梅田住宅 管理センター	阿倍野住宅 管理センター	平野住宅 管理センター	合計
従業員 名	78 名	43 名	42 名	87 名	59 名	43 名	352 名
延べ床面積 m ²	1,400 m ²	1,209 m ²	265 m ²	529 m ²	519 m ²	560 m ²	4,482 m ²

(6) 事業年度

4月1日～3月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 大阪市住宅供給公社
 対象事業所： 本社
 大阪市立住まい情報センター
 募集センター
 梅田住宅管理センター
 阿倍野住宅管理センター
 平野住宅管理センター
 事業活動： 賃貸住宅管理事業・住宅支援事業・住まい情報センター管理運営事業



	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・環境への取組みの全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
内部環境監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に関する内部監査の計画 ・環境に関する内部監査の実施・報告
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標及び環境経営計画書の審議 ・環境活動実績の確認・評価 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の職員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの原案の作成、公表(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
全職員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	-2年	-1年	年
水使用量	m ³	3,055	2,472	1,884
一般廃棄物排出量	kg	1,022	999	1,510
産業廃棄物排出量	kg	661	465	466

・水使用量は、節水型へのトイレ改修工事の実施及び節水の啓発のおかげで少なくなりました。

・一般廃棄物排出量は、ビルの清掃会社が定期的に収集を行うため、公社が排出した正確な廃棄物排出量の把握ができません。

また、2024年度から急激に排出量が増えています。2023年度の途中から平野住宅管理センターでの排出量の計量方法を見直したためです。

・産業廃棄物排出量は、そのほとんどが市営住宅退去者の残置物のため、退去者へ丁寧に退去手続きについて説明を行い、発生抑制に努めています。

・電気使用量は、テナントビルに入居しているため、公社が使用した正確な電気使用量の把握ができません。

平野住宅管理センターは、戸建ての事務所であっても電気代の負担は大阪市のため、公社がその使用量を知ることはできません。

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	年		評価	1年	2年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
一般廃棄物の削減	kg	1,078	1,045	1,510		1,035	1,024
	基準年度比	2021年	97%	140%	×	96%	95%
産業廃棄物(混合)の削減	kg	325	316	466		312	309
	基準年度比	2021年	97%	143%	×	96%	95%
コピー枚数	枚	2,246,835	2,179,430	2,265,809		2,156,962	2,134,493
	基準年度比	2021年	97%	101%	×	96%	95%
水使用量の削減	m ³	3,070	2,977	1,884		2,947	2,916
	基準年度比	2021年	97%	61%	○	96%	95%
環境に配慮した生産活動 ←環境に配慮した住宅の供給等	行動目標(次項による)						

化学物質について、使用していないため目標化していません。

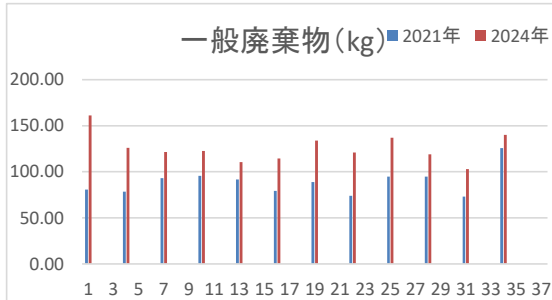
□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

数値目標:○達成 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	-	
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	○	ノー残業デーの定時退社や事務所内の不要な照明の消灯など節電に努めました。 今後も引き続き節電に努めます。
・不要照明の消灯	○	
・定時退社の実施（毎週水曜日）	○	
・夜間・休日は、パソコン、プリンター等の主電源を切る。	◎	
・夏季における軽装（クールビズ）、冬季における重ね着等服装（ウォームビズ）の工夫をする。	◎	

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	×	住まい情報センターにおいて目標値を達成できませんでした。引き続き一般廃棄物の排出抑制に努めます。
・紙類の分別の徹底（コピー用紙、新聞、その他の紙、段ボール）	○	
・封筒、ファイル等の再利用	○	
・回覧文や職務規程等は、紙面による管理は行わず、グループウェアで共有するようにする。	○	
・研修・会議等では、電子黒板やプロジェクターを使用する等、配付資料を少なくする工夫をする。	○	



取組紹介欄



一般廃棄物の減量にチャレンジしています!!

- ★入れていいもの
 - ・机上で排出される紙ゴミ など
 - ・リサイクル可能なもの (例)紙類・資源ゴミ
 - ・生ゴミ (例)お弁当の糠のゴミ・茶殻
- ★入れてはいけないもの
 - ・ペットボトル・プラスティックゴミはさっと水洗いして給湯室の専用ゴミ箱へ入れてください。
 - ・ペットボトルキャップはさっと水洗いして給湯室の小さなゴミ箱へ入れてください。

- ◇びん・缶・ペットボトル・プラスティックゴミはさっと水洗いして給湯室の専用ゴミ箱へ入れてください。
- ◇ペットボトルキャップはさっと水洗いして給湯室の小さなゴミ箱へ入れてください。

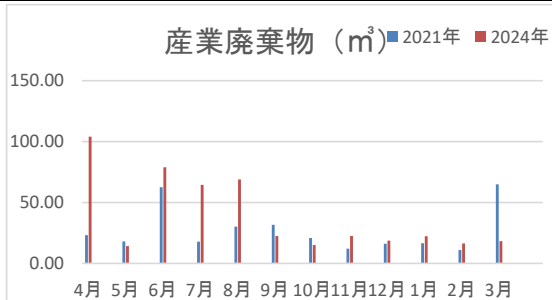


大阪市住宅供給公社 環境委員会 作成

(単位: kg)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	80.75	78.55	93.15	95.65	91.55	79.40	88.95	74.00	94.80	94.80	73.05	125.75
2024年	161.15	125.92	121.60	122.50	110.50	114.60	133.80	120.80	136.85	118.95	102.95	140.05

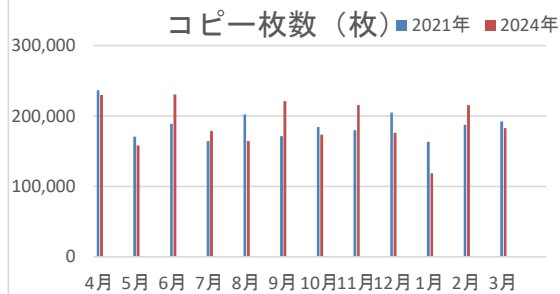
産業廃棄物（混合）の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	×	市営住宅退去者の住戸からの排出がほとんどを占めており、退去連絡の都度、適正な処分を行うように指導はしていますが、指導に従わず残置していくため減らすことはできません。 退去者数をコントロールすることはできないため残置物の排出を抑制することはできませんが、引き続き丁寧な指導に努めていきます。 なお、事業所からの排出については、事務所内で再利用可能な事務用品はリサイクルを行いました。
・排出する前に再利用が可能なものか	○	



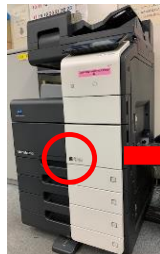
(単位: m³)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	23.16	18.10	62.50	17.90	30.15	31.64	20.88	12.14	16.14	16.63	11.12	64.94
うち市営	23.00	18.00	26.00	17.70	30.00	19.50	20.50	12.00	16.00	16.50	11.00	64.80
2024年	104.16	14.15	78.95	64.36	68.82	22.56	15.10	22.46	18.73	22.42	16.39	18.25
うち市営	104.00	14.00	78.80	64.20	68.60	22.40	14.94	22.29	18.60	22.29	16.29	14.11

コピー枚数	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	×	住宅管理センターでの業務は、大阪市の専用システムにつながるプリンタから各種申請書を出力し、審査に必要な大阪市指定の添付書類も多く、ほとんどを住宅管理センターでコピーするため、削減が難しいですが、公社全体でNアップ機能や両面コピーを利用するなど、工夫しながら削減に努めます。
・新機種の複合機を導入。IDカード認証にて出力。	◎	
・プリンターやコピー機で複数頁の印刷をする場合は、原則として両面印刷、可能な限り縮小・集約印刷とする。	○	
・グループウェアの活用を推進し、回覧等の情報共有のペーパーレスに努める。	○	



取組紹介欄



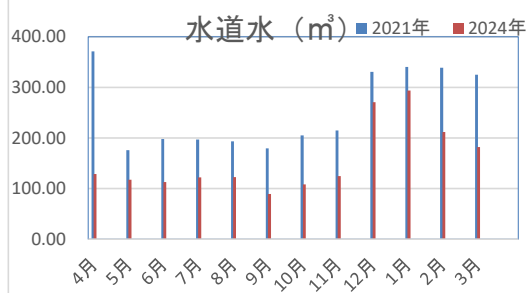
ハード面では、エネルギースター・エコマーク製品を使用しています。

職員には省資源化と経費節減のため、両面印刷やNアップ機能の利用を呼びかけています。

(単位：枚)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	236,658	170,650	189,137	164,326	202,377	171,336	184,398	179,785	204,766	163,455	187,467	192,480
2024年	229,881	158,147	230,734	178,877	164,502	221,274	173,515	215,581	176,202	118,723	215,515	182,858

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	○	昨年度のトイレ改修工事の成果で目標が達成できています。冬場に使用量が増加しているのは、ビルの全体の加湿を行うためとのことです。
・トイレに擬音装置取り付け	◎	
・手洗い時、トイレ使用時、洗い物においては、日常的に節水を励行する。	○	
・節水について、トイレ等に掲示する等して、来庁者・施設利用者へ節水への協力を呼びかける。	○	



取組紹介欄



給湯室やトイレに節水を呼び掛ける掲示を行っています。

(単位：m³)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	370.83	175.65	197.78	196.78	193.55	179.71	205.18	214.96	330.84	340.46	339.02	324.78
2024年	128.71	117.32	112.97	122.05	122.55	89.21	108.44	124.89	270.44	293.71	211.74	182.12

グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・数値目標	-	可能な限りグリーン購入に努めるよう、2024年11月、各部署に周知しました。
・有害性の少ない資材の購入	○	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	
・事務用品グリーン購入	○	

取組紹介欄



「大阪市グリーン調達方針」に基づいた事務用品の調達を心がけています。

公社賃貸住宅の置き配対応化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・事業者と提携し、オートロックの公社賃貸住宅を「置き配」可能団地とする。	◎	2022年度から導入し、すべての団地で良好に稼働しています。

公社賃貸住宅エントランスへの宅配ボックスの設置	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・設置可能な団地に宅配ボックスを設置する。	◎	設置可能な団地にはすべて導入済みです。

取組紹介欄

屋内設置タイプ



防滴タイプ



防滴タイプは、屋外でも軒下があれば設置可能ということで、これまで置けなかった団地にも設置可能となりました。

公社賃貸住宅の機械式駐車場の平面化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・機械式駐車場の平面化	◎	2023年度に設計を行ったコーシャハイツ荊田において、平面化工事を行いました。将来的に電気自動車の充電器が設置できるように、空配管を設置するなど工夫をしています。次年度も引き続き実施に努めます。

取組紹介欄



施工前



地上2段式の機械式駐車場を撤去し、埋め戻します。埋め戻したあとは、機械操作にかかる電気代が生じないためCO2削減につながります。また高さや重量に制限がなくなるため、契約者の利便性も上がります。



施工後

公社賃貸住宅の共用部分の照明設備のLED化	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・共用部分の照明設備のLED化	◎	前期に実施した設計に基づき、3団地において照明設備の改修工事を行いました。次年度も引き続き実施に努めます。

住環境教育の発信	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・住環境に関する図書コーナーの設置	◎	セミナー及びリサイクルブックフェアをはじめとするイベントを計画的に実施することができました。
・家を大切にす住まうためのセミナー・イベントの開催	◎	

取組紹介欄

「住まい情報センター」では、セミナーやイベントを実施する普及・啓発事業、専門家団体との連携による住まい・まちづくりネットワーク事業など、住まいに関する総合的な情報発信を行っています。

「住まいのライブラリー」では、大阪に住み暮らすことへの興味や愛着を育む目的で、住まい・まちづくりについて情報提供をおこなっており、「住まい・建築」と「住むまち・大阪」をテーマに、図書・雑誌・機関誌・企業広報誌・地域情報誌・ビデオ等を収集、配架しています。

役目を終えた図書、保存期限の終了した雑誌（寄贈された本の一部）を再活用する目的で始まった企画の「リサイクルブックフェア」では、希望者の方にこれらの図書をお譲りしています。

ライブラリーボランティアが作成した着物の端切れを利用したしおりや、壁紙のサンプル（見本帳）を利用した文庫本サイズのブックカバー（図書の借出しカードを初めて作成した方対象）のプレゼントも行っています。

また住環境に関する、省エネやエコなどを取り上げた図書のミニコーナーを設置することで、環境教育の普及・啓発に努めています。

リサイクルブックフェア



住まいの基礎知識セミナー



端切れを再利用したしおり



関連図書コーナー



住まいと暮らしのワークショップ



壁紙のサンプルを再利用したブックカバー



コミュニティ形成活性化支援・地域連携	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
梅田住宅管理センター		
・ イベント・協働イベントの開催	◎	自治会からのニーズに応じ、「防災講座」や「高齢消費者講座」などの各種イベントを開催しました。また、地域が主催するイベントにも積極的に参加し、地域連携に努めました。 さらに、自治会からの要望を受け、買い物支援として移動スーパーを実施しました。買い物の負担を軽減するとともに、地域住民が交流できる場を提供しました。
・ 移動スーパーの実施	◎	

防災講座



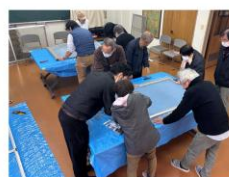
住まいの相談



高齢消費者講座

コミュニティ形成活性化支援・地域連携	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
阿倍野住宅管理センター		
・ イベント・協働イベントの開催	◎	自治会からのニーズに応じ、「防災講座」や「網戸張替え講座」などの各種イベントを開催しました。また、住吉区、浪速区の社会福祉協議会と連携して「市営住宅内での孤独死について」報告を行い、地域のつながりの重要性について入居者と共有しました。
・ 移動スーパーの実施	◎	さらに、自治会からの要望を受け、買い物支援として移動スーパーを実施しました。買い物の負担を軽減するとともに、地域住民が交流できる場を提供しました。

網戸張替え講座



防災講座

コミュニティ形成活性化支援・地域連携	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
平野住宅管理センター		
・イベント・協働イベントの開催	◎	自治会からのニーズに応じ、「防災講座」や「住まいのメンテナンス講座」などの各種イベントを開催しました。また、地域が主催するイベントにも積極的に参加し、地域連携に努めました。
・移動スーパーの実施	◎	さらに、自治会からの要望を受け、買い物支援として移動スーパーを実施しました。買い物の負担を軽減するとともに、地域住民が交流できる場を提供しました。

住まいのメンテナンス講座



防犯講座 特殊詐欺 平野警察署



防災講座

令和6年9月
瓜破東住宅 4住宅39棟の皆さまへ

防災講座のご案内

日時 令和6年10月10日(木)
午後1時30分から

場所 集会所B(南東側)

南海トラフ地震・土砂崩壊など今後発生し得る震災に対する備えが、日頃からできる備えについて紹介いたします。ぜひご参加ください。

長吉長新東第4住宅39棟自治会
主催 平野区役所 防災担当
大阪府住宅政策推進課大阪府住宅供給公社
平野住宅管理センター

特殊詐欺防止講座

令和6年10月
瓜破東住宅 2棟の皆さまへ

特殊詐欺防止講座のご案内

昨年、全国で起きた特殊詐欺は認知件数・被害額ともに前年より増加しました。特に架空の料金を請求する詐欺が大幅に増えています。いつ身に降りかかるかわからない特殊詐欺に対する対応方法・心がまえについて紹介いたします。ぜひご参加ください。

日時:令和6年11月12日(火)
午後2時～

場所:集会所

講師:平野警察署 生活安全課

主催 瓜破東2棟 自治会
平野警察署 生活安全課
共催 大阪府住宅政策推進課 大阪府住宅供給公社
平野住宅管理センター

漫オライヴ

H1グランプリ優勝コンビ
漫オライヴ

2月11日(火・祝) 午後1時30分～
於/ 瓜破東第二集会所 瓜破東2-7-55
外口戸駅①番出口西側 ローソンの里道を南へ2分
(山公 横の集会所) どなた様も入場できます
入場無料(献金制)

2024平野区お笑いコンテスト「H1グランプリ」
一般の部、小学生の部 優勝二組出演

主催 瓜破東第二集会所運営委員会	25 様
協賛 平野住宅管理センター	24 様
瓜破東集会所 活動コーディネーター	5 様

進行あり

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物の適正処理
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫の廃棄時適正処理
フロン排出抑制法	業務用空調機(サーバー室等)の簡易点検実施と記録
大阪市要求事項	グリーン調達方針

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等は過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要望等

外部からの環境上の苦情・要望等はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定：火災の発生	
■実施日：2024年5月23日・9月4日・11月21日	■実施場所 天六事務所
■参加者：各担当部署から1名	
■実施内容：☑通報訓練 ☑消火訓練 ☑避難訓練 当日の訓練対象者は、遅滞なく訓練に参加して、水消火器での消火訓練にも参加しました。	
■評価： 住まい情報センターは、大阪市の津波避難ビルに指定されており、防潮パネルの設置訓練も開催されています。訓練に参加することで、いざという時に役に立ちます。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
避難訓練 2024年5月23日実施	2024年9月4日実施
	
	防潮パネル設置訓練 2024年11月21日実施 (写真は2023年度のもの) 
緊急事態の想定：津波に関する特別警報発令・地震発生	
■実施日：2024年4月24日・5月10日・10月29日・11月6日	■実施場所 梅田住宅管理センター
■参加者：職員4名	
■実施内容：☐通報訓練 ☑消火訓練 ☑避難訓練 屋内非常階段を利用して3階北側公開空地へ避難後、訓練消火器による消火訓練と屋内消火栓のデモンストレーションの見学を実施しました。	
■評価： いざという時にはセンターに来社しているお客様の誘導も必要なので、センター内で役割を決めた訓練または机上訓練の実施の必要性を感じました。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 大阪駅前第2ビル管理組合より案内があり、テナント各社より代表者が参集して実施されました。 屋外階段で避難後、水消火器による消火訓練が実施されました。	
緊急事態の想定：火災	
■実施日：2024年5月27日・10月28日	■実施場所 阿倍野住宅管理センター
■参加者：職員2名	
■実施内容：☐通報訓練 ☑消火訓練 ☑避難訓練 東西非常階段を使って屋外（玄関前）へ避難し、水消火器の操作訓練を行う。	
■評価： いざという時にはセンターに来社しているお客様の誘導も必要なので、センター内で役割を決めた訓練または机上訓練の実施の必要性を感じました。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 あべのメディックスビル管理事務所より案内があり、テナント各社より代表者が参集して実施されました。 非常階段で避難後、水消火器による消火訓練が実施されました。	
AED講習会 2024年10月18日実施 AEDの講習会に参加したことがない職員を対象に実施しました。	
	
	

緊急事態の想定：火災・不審者侵入

■実施日：2024年11月21日・2025年1月30日

■実施場所 平野住宅管理センター

■参加者：対象職員

■実施内容：通報訓練 消火訓練 避難訓練

1. 水消火器による消火訓練 2. 防犯訓練

■評価：

手順書の変更の必要性 あり なし

1. 水消火器による消火訓練

消防より水消火器を借り受け各担当の代表10名で実施。

DVD「消火器の使用方法について」鑑賞後、実地での説明を受けたのち交代で水消火器を使用しました。

2. 防犯訓練（さすまたの使い方）

(1) 座学

さすまたの使用目的、使い方、設置場所について

(2) 実践

さすまたを使った牽制行動、取り押さえるときにかかる力、相手から抵抗を受けたときにかかる力、効果的な取り押さえ方の体験

参加者の声

- ・ひとりでの対応は難しいと実感した
- ・警察到着までの10分弱の間、相手をけん制し続けることが大変
- ・牽制することに必死になり、さすまたを持つ位置は手前であることを忘れていた（相手に近づきすぎた）
- ・取り押さえられる役も体験して、2人より3人では迫力があり、効果を知った
- ・壁が無ければ上手く押さえ込めない

■実施状況の様子

1. 水消火器による消火訓練

2025年1月30日実施



2. 防犯訓練（さすまたの使い方）

2024年11月21日実施

座学



実践



気象庁の発表では、今年の夏（6～8月）の全国の平均気温は、統計のある1898年以降で最も暑かったとのこと
です。

この夏の異常な猛暑については皆さんも体感されており、環境への取り組みは待ったなしの状況にあります。
公社においては、次のとおり取り組みを行いました。

- ・「電力による二酸化炭素削減」については、公社独自に電気使用量を計測することはできませんが、空調温度の適正化や不要な照明の消灯など引続き節電の取組みを徹底するよう指示しました。また、一年を通じてのクールビズやウォームビズの取組みをはじめました。
- ・「一般廃棄物の削減」については、2023年度の途中から平野住宅管理センターにおいて排出量の計量方法を見直したため急激に値が増加しましたが、引続き削減に努めるよう指示しました。
- ・「産業廃棄物(混合)の削減」については、目標値より大きく増加しました。産業廃棄物は殆どが市営住宅の退去に伴う残置物によるもので、排出量は退去者数の増減にも関係します。本来は退去者が処分すべきものであり、退去者が責任をもって自ら処分するよう、根気よく丁寧に指導に努めるよう引続き指示しました。
- ・「コピー枚数」については、基準年に比べ使用量が増加しました。指定管理事業に係る紙ベースでの報告書や届出・申請関係の添付書類の提出などコピーの使用が避けられないところはありますが、印刷方法の工夫、オンライン会議やe-ラーニング研修を積極的に実施することで極力コピー枚数の削減に努めるよう指示しました。
- ・公社独自事業については、機械式駐車場の平面化や宅配ボックスの設置をすすめることにより、電気使用量やCO2排出量の抑制に努めました。2025年度以降も計画に沿って共用部分の照明設備のLED化を進めるよう指示しました。
- ・2024年1月に発生した能登半島地震に際しては、公社賃貸住宅での避難生活を支援しました。また、大阪市が被災者へ市営住宅の無償提供を行ったことから、市営住宅の指定管理者である公社は民間業者と速やかに調整を行い、入居者の生活に必要な家電や生活雑貨の迅速な調達を実施しました。受付は2024年12月に終了しました。
- ・住まい情報センターでは、住まいのライブラリーに環境に関する図書を集めたミニコーナーを設置し、住まいと環境面からの情報発信を行っています。また、「リサイクルブックフェア」を実施し、ライブラリーで役目を終えた図書を新たな持ち主に譲渡するなど資源の有効活用を図りました。なお、壁紙の見本帳を再利用したブックカバーを作成し、利用者に提供しました。
- ・住宅管理センターでは、市営住宅入居者の高齢化やコミュニティ形成の課題解決に向けた取組みとして、自治会からの要望に応じて移動スーパーの誘致、防災講座やイベントの開催などの取組みを継続して行いさらなる充実
に努めました。

今後も、エコアクション21の取組みの継続のため、職員一人一人が環境への配慮を強く意識し、自発的に計画、行動し、積極的な社会活動に供するよう努めてまいります。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

□これまでの環境活動、社会貢献活動の紹介

2024年 8月 7日実施

大阪打ち水大作戦2024への参加

大阪市が取り組んでいる打ち水は、道路や庭に水をまいて夏の涼を得る、昔からの日本人の知恵であり、身近なヒートアイランド対策です。



2024年2月1日実施

大阪マラソン“クリーンUP”作戦への参加

大阪市では、「大阪マラソン2025」開催前の令和7年1月18日（土曜日）から2月22日（土曜日）までの21日間において、大阪マラソン“クリーンUP”作戦を実施しており、公社では令和元年から毎年参加しています。



ペットボトルキャップの回収

プラスチックごみ排出削減、障害者の方の就労支援、世界の子どもたちへのワクチンを送ることができるなど身近な社会貢献です。

キャップ回収量	
数量 (kg)	68.00kg
個数 (個)	22,666個
ワクチン換算 (本)	28本



クールビズ・ウォームビズの実践

環境省では、令和3年度からクールビズ・ウォームビズについて全国一律実施期間の設定は行わず、省エネ・省CO2対策として各自の判断による快適で働きやすい服装を呼びかけています。
このことを踏まえ、令和6年度から全職員、全職場を対象に通年でクールビズ・ウォームビズに取り組むこととし、公社が主催する会議等においても取り組みへの協力を呼びかけています。

《2023年度まで》

「関西夏のエコスタイル」 (期間) 5月1日～10月31日
「関西冬のエコスタイル」 (期間) 12月1日～3月31日

《2024年度から》

⇒ クールビズ・ウォームビズ (期間) 通年

買物支援の取組み

移動スーパーの実施により、高齢者等の買い物の利便性向上を図るとともに、地域のコミュニティを活性化させ、移動販売時における住民への声掛けなどによる見守り活動の強化を図っています。



地域まちづくり活動の促進

区役所及び社会福祉協議会等と連携し、コミュニティ活性化に資する子育て支援、高齢者支援、防災に関連したイベントを開催しました。

第1回すまいる広場in高見

2024年8月9日実施

・防災講座(此花区役所)



・パルーンアート・ふれあい喫茶 (高見地域活動協議会)



・防災関連展示/各種リーフレット等



第2回すまいる広場in高見

2024年12月5日実施

・ふれあい喫茶・子育て等の相談窓口 (高見地域活動協議会)



防災講座 2025年2月6日実施

● 第1回

防災講座のお知らせ

日時 **2.6日(木)** 15:00～17:30
 ところ コーシャイツ港2号棟 集会所

プログラム

- ※港区で心配される災害の紹介
- ※自宅での避難のすすめ
- ※防災グッズに触れてみよう

主催：大塚市住宅供給公社
 共催：港区役所 協力：港区社会福祉協議会
 企画協力：大塚市住宅供給公社 管理課 03-6882-7020
 参加費無料 申込不要です



令和6年 能登半島地震の被災者の方々への支援

2024年1月1日に発生した地震で多くの方々被災し、県外への避難を余儀なくされました。継続して公社賃貸住宅での避難生活を支援しています。